

第三回 荒川区区政改革懇談会

グループ討議会議録：萌黄

【日時】

9月17日（土）10：00～12：00

【場所】

荒川区役所 304 会議室

【次第】

ステップ1：はじめに

ステップ4：本日の討議結果確認

ステップ2：荒川の良い点・悪い点を話し合う

ステップ5：その他

ステップ3：こうなって欲しいまちの姿と

課題を話し合う

ステップ1：はじめに

【前回の話し合いの内容確認】

コンサルタントにより、前回の話の内容確認がなされた。

【今回の話し合いの進め方】

配布資料の確認と話し合い内容の説明を行った。

ステップ2：荒川の良い点・悪い点を話し合う

【荒川区の良い点・悪い点の検討】

はじめに荒川区の良いところ・悪いところについて前回の宿題を参考にふせん紙に書いてもらい、それを模造紙に張りながら委員に説明していった。

（近所づきあい）

- ・ 荒川区で生まれ育った人には近隣の方々との昔からのつきあいに人情味を感じるが、荒川区以外から来た人、年代層によっては親切にしたつもりが親切には受けとめられないこともあり、ギャップを感じる。人情味が伝わっているのか。
- ・ 若い人は若い人だけで固まってまってしまう。

（道路）

- ・ 災害の際に、道路が狭いため電柱があると避難する時に邪魔である。
- ・ 電柱を地中化して欲しい。

（マナー）

- ・ 若い母親が前後、背中に1人ずつ乗せ、1台の自転車に本人合わせて計4人乗って走って

いる姿を見かける。時には母親が自転車を降りても子供が乗ったままの場合や、乗りながら携帯電話を使っている場合もあり、非常に危険である。

- ・ 親を対象としたしつけ教室を開催してはどうか。

(教育)

- ・ 教育者(教員)の質の向上、サラリーマン感覚の教員が多いのもっとプロ意識の高い深みのある教員が欲しい。
- ・ 区で行っている教員の研修は豊富で良い。
- ・ 公立学校は私立と違い教員が良い点もあるが悪い点もある。
- ・ 問題が発生した時にうやむやにせず率直に話し合える場が欲しい、つまり風通しの良い教育現場にして欲しい。
- ・ クラスを三段階(習熟度別)に分けそれぞれに教師をつけ指導する制度があるが、生徒1人一人に指導が行き届くので良いと思う。区や国では是非採用して欲しい。ある意味学習塾みたいだが、やはり40人に対して1人の教師では指導が行き届かないと思うので、担任1人に押し付けるのではなく、分担して子供に合った教育をして欲しい。

(防災)

- ・ 避難場所が少ないので考えて欲しい。指定地を明確に表示して欲しい。
- ・ 自分がどこの町会か、どの避難場所へ行けば良いのか把握していない人が多いので、町会で人数を把握すべきだと思う。
- ・ 自然公園・尾久の原公園のような広い公園をもっと有効活用して欲しいし、水を確保するという面でも広い公園を確保するよう区で努力して欲しい。

(リサイクル(環境))

- ・ 以前区で牛乳パックの回収を行っていたが、現在は行っていない。資源として使えるものなので、是非再開して欲しい。
- ・ ペットボトルも回収して欲しい。
- ・ 幹線道路に前日からゴミ出しをする人がいるが、景観が悪いので夜に出さないで欲しい。加えてゴミを早く回収して欲しい。

(介護)

- ・ 要介護認定の仕方が不透明で問題だと思う。
- ・ 介護保険についてよく分からない。
- ・ ヘルパーが介護した場合は点数が加算されるが身内が介護する場合は点数が加算されない。家庭内で介護した分も点数が加算され、自分が介護される側になった時に還元されるようなシステムが欲しい。
- ・ 社会福祉協議会に「にこにこサービス」がある。

(まちなみ)

- ・ 荒川区の清潔度は低く、満足な域に達していない。

（健康づくり）

- ・ 体育館に高齢者が集まっているので、1年に1回でもいいので、スポーツ医師による健康診断やアドバイスしてくれる機会、イベントを開催して欲しい。予防医学の観点からも良いと思う。あらかわ遊園スポーツハウスでは実施されているが医師によるものではない。他市では実施しているところもあると聞いたことがある。

（ボランティア）

- ・ 都電周辺の植物に水をやるボランティアは良いと思う。

（イメージアップ）

- ・ 観光産業に結び付け、区のイメージアップを測るため、都内唯一の都電をPRに使ってみてはどうか。

（情報）

- ・ 区政の情報として広報を出しているが、もっときめ細かく対応して欲しい。関心のない人には情報が入らず「知らなかった」ということが時折あり、緊急の募集などの時にも対応できるようにして欲しい。

（行政）

- ・ 行政組織において、1つの問題が発生した場合、1つの部門で解決にあたるのではなく、関連する部門が横のつながりを強く持って解決にあたって欲しい。そうすれば、解決策の幅が広がってくると思う。

（その他）

- ・ 区の住居表示が少ないのでどこか分からず家を探す時に困るので全ての地区に設置して欲しい。
- ・ 公園に何ヶ所かドッグランを作って欲しい。

ステップ3：こうなって欲しいまちの姿と課題の検討

【こうなって欲しいまちの姿と課題の検討】

はじめにこうなって欲しいまちの姿についてふせん紙に書いてもらい、それを模造紙に張りながら委員に説明してもらった。

（こうなって欲しいまちの姿）

- ・ 美しく整備された街並み、緑が多く、ゴミのないまち。
- ・ 区民が安心して住めるまち。
- ・ 元気な高齢者がいるまち。
- ・ 日本の玄関になる荒川区(国際的、親切、やさしいまち)。
- ・ 都心より8kmという便利な区に道路をゆったりとった、緑豊かなまち、建物もヨーロッパのように夢

のある建築と歴史に残したいものになりたい。

- ・ 都電以外で荒川区でなければ乗れないユニークな鉄道が欲しい。
- ・ 商店による品物が置いてあるということがなく、道幅がゆったりした歩道あり、ゆっくり散歩、ショッピングができるまち。
- ・ 通りすぎられないまち(成田から来る外国人対象に)。
- ・ 思いやり、協力、助け合いのできる人を育てるまち。
- ・ 屋上を含めた区内全域の緑化。
- ・ 雨水を利用した生活。
- ・ ゴミが目につかないように集積から収集までを短時間にする。
- ・ 自転車マナー教育(ソフト面)駐輪場のあり方(ハード面)(置きたくなるような駐輪場)の充実。
- ・ 災害の際の準備を区民1人1人が認知し協力的である。
- ・ 道幅を広くし電柱を地中化する。
- ・ 広い他生活道路を設置し生活道路には車が入らないようにする。
- ・ 街路樹の植林、休憩所(公園の近く)を設置する。
- ・ 児童手当・医療費などの経済的な子育て支援の充実をさせる。
- ・ 学校施設の充実、適切な教員の配置、司書・栄養士等学習に直接関わらない職の充実による子供達を育てやすい教育環境を整備する。
- ・ 母親自身が働きやすく生きがいを感じられように保育施設・相談センターを増設する。
- ・ イベントを通して区民の意識向上と区政 PR することにより、愛着効果を活かす。
- ・ 若者の就職、雇用が確保すること。

(実現するための課題)

- ・ 行政に対して無関心なので人材育成が必要である。
- ・ 意識改革のために何事も教育を実施すべきである(自分の子供は責任を持つという親の意識改革、父親の関心を高めるための意識改革、教員の再教育など)。
- ・ 現場の声を聞く行政(実際に関心を持ち現場に行く行政)が必要である
- ・ 注意する勇気を持つなど住民の意識改革が必要である。
- ・ 言葉づかい、マナーの欠如の意識改革が必要である。
- ・ 行政が一方的に決めるのではなく、区民が関心をもてるように検討するというように、区民の意見を反映させる行政が必要である。
- ・ 関心を持たせるための PR の手段として、何にどのくらいかかったかわかるようにする(会合を開催するのにかけた費用や地図を作成するのにかけた費用を公表するなど)。

ステップ4：今日の話し合いの内容確認

本日の話し合いの内容確認がなされた。

11 月下旬予定の中間発表に向けて、これまでの議論をある程度まとめていく必要があることと、発表者選出を行う必要があることを確認した。

ステップ5：その他

【次回について】

次回までに、「荒川区として何が1番問題なのか」について考え、宿題として出したシートを書いてきてほしい。

日程は10月6日(木)の19時より。